

平成29年度 大阪府立芦間高等学校 学校教育自己診断
アンケートの集計結果に対する見解

◎ 調査概要

- (1) 実施日 11月9日(木)～11月23日(木)
- (2) 実施方法 回答方式 マークシート方式
生徒 期間中のLHRの時間に一斉実施
保護者 期間中に生徒に持ち帰らせ、回答後生徒経由で回収
教員 職員会議において一斉実施
- (3) 有効回答数 生徒 1年239人(242人中)、2年231人(242人中)、3年220人(241人中)、
合計690人(725人中)(回収率95%)
保護者 1年191人(242人中)、2年202人(242人中)人、3年193人(241人中)、
合計586人(725人中)(回収率81%)
教員 38人(60人中)(回収率63%)

◎ 集計結果に対する見解

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	1	芦間高校での高校生活に満足している。	1年	26.8%	43.9%	18.4%	6.7%	4.2%	70.7%	25.1%
			2年	34.1%	46.3%	9.6%	3.5%	6.6%	80.3%	13.1%
			3年	47.0%	38.4%	6.8%	5.0%	2.7%	85.4%	11.9%
			全体	35.7%	42.9%	11.8%	5.1%	4.5%	78.6%	16.9%
保護者	1	芦間高校での高校生活に満足しているようである。	1年	49.7%	38.7%	6.8%	1.6%	2.6%	88.5%	8.4%
			2年	41.4%	45.8%	7.9%	3.4%	1.0%	87.2%	11.3%
			3年	50.3%	34.2%	7.8%	3.6%	3.6%	84.5%	11.4%
			全体	47.0%	39.7%	7.5%	2.9%	2.4%	86.7%	10.4%
教員	1	生徒は、芦間高校での高校生活に満足しているようである。	人数	15	23	0	0	0	38	0
			百分率	39.5%	60.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた評価(以下、「肯定率」という。)が、大半の項目において、3年生の肯定率が上昇、1・2年生の肯定率が下降傾向にある。学校への満足度についても生徒・保護者ともに80%前後で高くなっているが、やはり、同じ傾向にある。教員の対応としては、特に変化がないため、原因としては、現在の2年生から、選抜方法が前後期制の前期から共通の一般選抜に変わったことで、教員が感じている以上に、入学してくる生徒の傾向が変化したのではないかと考えられる。今回のアンケート結果を受けて、対応を検討する必要がある。

生徒	2	芦間高校の授業は、わかりやすく、内容が充実している。	1年	4.6%	49.2%	28.6%	12.2%	5.5%	53.8%	40.8%
			2年	13.5%	40.9%	28.3%	10.0%	7.4%	54.3%	38.3%
			3年	18.7%	59.4%	13.2%	4.6%	4.1%	78.1%	17.8%
			全体	12.1%	49.6%	23.6%	9.0%	5.7%	61.7%	32.6%
保護者	2	芦間高校の授業はわかりやすく、かつ内容が充実しているようである。	1年	18.3%	46.6%	19.9%	3.1%	12.0%	64.9%	23.0%
			2年	17.2%	46.8%	20.7%	5.4%	8.9%	64.0%	26.1%
			3年	22.3%	43.5%	16.6%	5.2%	11.4%	65.8%	21.8%
			全体	19.3%	45.7%	19.1%	4.6%	10.7%	64.9%	23.7%
教員	3	魅力ある授業になるよう、指導方法の工夫・改善を行っている。	人数	13	24	0	0	1	37	0
			百分率	34.2%	63.2%	0.0%	0.0%	2.6%	97.4%	0.0%

生徒	4	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきている。	1年	7.6%	26.5%	34.0%	23.1%	8.8%	34.0%	57.1%
			2年	8.7%	26.8%	33.8%	25.1%	5.6%	35.5%	58.9%
			3年	24.1%	37.3%	21.8%	13.2%	3.6%	61.4%	35.0%
			全体	13.2%	30.0%	30.0%	20.6%	6.1%	43.3%	50.7%
保護者	4	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきているようである。	1年	7.9%	36.6%	28.8%	21.5%	5.2%	44.5%	50.3%
			2年	17.2%	29.6%	29.1%	15.8%	7.9%	46.8%	44.8%
			3年	26.9%	34.7%	23.8%	7.3%	6.2%	61.7%	31.1%
			全体	17.4%	33.6%	27.3%	14.8%	6.5%	50.9%	42.1%
教員	4	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきているようである。	人数	1	11	18	3	5	12	21
			百分率	2.6%	28.9%	47.4%	7.9%	13.2%	31.6%	55.3%

「授業のわかりやすさ」について、やはり3年生では上昇しているが1・2年生で生徒、保護者ともに肯定率は下がっている。学校として、アクティブ・ラーニングを取り入れたり、研究授業を行うなど、最も重視している部分であるため、この結果を真摯に受け止め、教員間で十分に話し合い、さらなる授業改善に取り組む必要がある。

「予習・復習」については、保護者の肯定率は上昇しているが、教員は十分ではないという見方が大半である。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	7	「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	1年	28.9%	37.2%	20.5%	7.1%	6.3%	66.1%	27.6%
			2年	28.1%	34.6%	19.9%	10.0%	7.4%	62.8%	29.9%
			3年	28.2%	40.9%	15.0%	7.7%	8.2%	69.1%	22.7%
			全体	28.4%	37.5%	18.6%	8.3%	7.2%	65.9%	26.8%
保護者	7	「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	1年	19.9%	37.2%	16.8%	5.8%	19.4%	57.1%	22.5%
			2年	20.2%	33.5%	20.2%	5.9%	19.7%	53.7%	26.1%
			3年	11.4%	39.9%	19.7%	5.2%	22.8%	51.3%	24.9%
			全体	17.2%	36.8%	18.9%	5.6%	20.6%	54.0%	24.5%
教員	7	生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	人数	15	19	2	0	2	34	2
			百分率	39.5%	50.0%	5.3%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%

1年生の「産業社会と人間」や2年生の「総合学習」では、基本的には自分の将来像をテーマに課題研究を行っている。アンケートを行った時期は、1年生ではジョブカバリーでの発表に向けて、2年生でも総学論文の発表に向けて準備を重ねている段階であるため、「適正」や「将来」より「発表」に意識が向かっているのかもしれない。課題研究の目的が何であるかを意識したうえで、発表に向けてのまとめを行うよう指導する必要がある。

生徒	14	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	1年	17.2%	38.1%	23.4%	8.4%	13.0%	55.2%	31.8%
			2年	20.8%	33.3%	26.8%	7.8%	11.3%	54.1%	34.6%
			3年	25.5%	47.7%	15.5%	5.5%	5.9%	73.2%	20.9%
			全体	21.0%	39.6%	22.0%	7.2%	10.1%	60.6%	29.3%
保護者	11	芦間高校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	1年	19.4%	38.2%	3.7%	3.1%	35.6%	57.6%	6.8%
			2年	22.7%	40.4%	12.8%	3.0%	21.2%	63.1%	15.8%
			3年	24.4%	33.2%	10.9%	4.7%	26.4%	57.5%	15.5%
			全体	22.1%	37.3%	9.2%	3.6%	27.6%	59.5%	12.8%
教員	15	教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	人数	13	25	0	0	0	38	0
			百分率	34.2%	65.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

保護者	18	子どもは、家で学校の友達の話をよくする。	1年	30.4%	45.5%	11.5%	9.9%	2.1%	75.9%	21.5%
			2年	33.0%	32.5%	23.2%	10.3%	1.0%	65.5%	33.5%
			3年	48.2%	29.0%	13.0%	6.7%	2.1%	77.2%	19.7%
			全体	37.1%	35.6%	16.0%	9.0%	1.7%	72.7%	25.0%

「家で学校の友達の話をする」については、今年度追加した設問であるが、家で話をする機会が2年生が最も低い。教員の生徒対応、保護者対応については、学年別に見ると、生徒の回答では、2年生の肯定率が下降しているが、保護者については逆に上昇している。**18**の結果と関連があるかもしれない。

生徒	16	環境、国際理解、福祉ボランティア等について学習する機会がある。	1年	11.3%	33.6%	29.4%	8.8%	16.8%	45.0%	38.2%
			2年	16.0%	41.6%	18.6%	6.9%	16.9%	57.6%	25.5%
			3年	20.9%	44.1%	14.5%	5.5%	15.0%	65.0%	20.0%
			全体	16.0%	39.6%	21.0%	7.1%	16.3%	55.6%	28.2%
保護者	16	芦間高校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせようとしている。	1年	24.1%	36.1%	4.2%	0.0%	35.1%	60.2%	4.2%
			2年	27.6%	40.9%	5.9%	2.0%	23.2%	68.5%	7.9%
			3年	29.0%	26.4%	8.8%	2.6%	32.6%	55.4%	11.4%
			全体	26.9%	34.6%	6.3%	1.5%	30.2%	61.5%	7.8%
教員	17	芦間高校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	人数	12	19	5	0	2	31	5
			百分率	31.6%	50.0%	13.2%	0.0%	5.3%	81.6%	13.2%

1年生のみ減少している。一方、オーストラリアの語学研修参加者は、大半が1年生で、今年度も予定定数を上回っている。また、幼稚園、子ども園との合同避難訓練にも1年生全員が積極的に関わっていたことも考えると、解釈が難しい。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	21	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	16.0%	35.0%	21.9%	19.4%	7.6%	51.1%	41.4%
			2年	10.0%	39.1%	27.8%	15.7%	7.4%	49.1%	43.5%
			3年	20.9%	42.3%	19.5%	9.1%	8.2%	63.2%	28.6%
			全体	15.6%	38.7%	23.1%	14.8%	7.7%	54.3%	38.0%
保護者	22	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	22.5%	39.8%	15.2%	6.3%	16.2%	62.3%	21.5%
			2年	25.6%	36.9%	16.7%	7.4%	12.3%	62.6%	24.1%
			3年	24.9%	34.7%	17.6%	8.3%	14.0%	59.6%	25.9%
			全体	24.4%	37.1%	16.5%	7.3%	14.1%	61.5%	23.9%
教員	24	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	人数	4	6	21	5	1	10	26
			百分率	10.8%	16.2%	56.8%	13.5%	2.7%	27.0%	70.3%

設備については、芦間高校の前身の守口北高校当時のものが、まだ、残っており、老朽化は否めない。特に、教員にとって、情報機器を中心とした設備の不備は授業に支障をきたしてきており、深刻な状態である。毎年、更新の申請はしているが、府財政の問題もあり、解決が難しい状態である。

生徒	22	芦間高校のホームページは自分にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	1年	13.4%	20.9%	20.1%	8.4%	37.2%	34.3%	28.5%
			2年	12.1%	23.4%	18.6%	11.7%	34.2%	35.5%	30.3%
			3年	24.5%	39.1%	15.9%	5.0%	15.5%	63.6%	20.9%
			全体	16.5%	27.5%	18.3%	8.4%	29.3%	44.1%	26.7%
保護者	23	芦間高校のホームページは、保護者にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	1年	29.3%	37.7%	11.0%	4.2%	17.3%	67.0%	15.2%
			2年	32.0%	36.5%	8.9%	3.0%	18.2%	68.5%	11.8%
			3年	24.4%	41.5%	11.9%	2.6%	19.2%	65.8%	14.5%
			全体	28.6%	38.5%	10.6%	3.2%	18.2%	67.1%	13.8%
教員	25	芦間高校のホームページは、保護者や生徒にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	人数	7	21	6	1	2	28	7
			百分率	18.9%	56.8%	16.2%	2.7%	5.4%	75.7%	18.9%
保護者	15	芦間高校は、教育情報について、積極的に提供する努力をしている。	1年	23.0%	38.2%	6.3%	0.5%	31.4%	61.3%	6.8%
			2年	23.2%	39.9%	12.3%	4.9%	19.2%	63.1%	17.2%
			3年	25.9%	35.8%	11.4%	4.1%	22.8%	61.7%	15.5%
			全体	24.0%	38.0%	10.1%	3.2%	24.4%	62.0%	13.3%

ホームページの活用については、1・2年と3年が極端な結果となっている。様々な情報が掲載されているが、文化祭・体育祭での3年生の活躍や進路情報など、生徒より、保護者や外部の方に向けての情報が多いため、このような傾向になったと思われる。保護者については、やはり、例年と変わりなく見ていただいているようである。

生徒	23	芦間高校は、教育方針や経営方針を、生徒にわかりやすく伝えている。	1年	11.7%	25.5%	25.1%	14.2%	23.4%	37.2%	39.3%
			2年	7.0%	33.0%	24.3%	10.9%	24.8%	40.0%	35.2%
			3年	14.5%	37.7%	22.3%	9.5%	15.9%	52.3%	31.8%
			全体	11.0%	31.9%	23.9%	11.6%	21.5%	43.0%	35.6%
保護者	24	芦間高校は、教育方針や経営方針をわかりやすく伝えている。	1年	20.9%	44.5%	13.1%	1.6%	19.9%	65.4%	14.7%
			2年	22.2%	43.3%	11.8%	2.5%	19.7%	65.5%	14.3%
			3年	22.8%	40.9%	12.4%	3.6%	20.2%	63.7%	16.1%
			全体	22.0%	42.9%	12.4%	2.6%	19.9%	64.9%	15.0%
教員	26	芦間高校は、教育方針や経営方針を生徒や保護者にわかりやすく伝えている。	人数	8	20	5	0	4	28	5
			百分率	21.6%	54.1%	13.5%	0.0%	10.8%	75.7%	13.5%

学校の教育方針や経営方針の伝わり方の肯定率は、学年を追うごとに増加はしているが、3年生でも半数の生徒にしか伝わっていない。教員としては集会やHRで伝えてはいるが、なかなか、理解に至っていないのが現状のようである。今後も、わかりやすく伝える努力をする必要がある。

保護者	17	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	1年	20.9%	54.5%	2.6%	0.5%	21.5%	75.4%	3.1%
			2年	30.5%	40.4%	8.4%	3.9%	15.3%	70.9%	12.3%
			3年	30.1%	38.9%	8.8%	2.6%	19.2%	68.9%	11.4%
			全体	27.3%	44.5%	6.6%	2.4%	18.6%	71.7%	9.0%

他の項目と異なり、1年生の保護者の肯定率が高い。「産業社会と人間」における取組が理解されていると思われる。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	12	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	1年	24.6%	37.3%	24.6%	5.1%	8.5%	61.9%	29.7%
			2年	15.3%	43.7%	20.1%	9.2%	11.8%	59.0%	29.3%
			3年	25.5%	49.5%	15.9%	4.5%	4.5%	75.0%	20.5%
			全体	21.8%	43.4%	20.3%	6.3%	8.3%	65.1%	26.6%
教員	13	芦間高校は、生命を大切にしている心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	人数	17	18	2	0	1	35	2
			百分率	44.7%	47.4%	5.3%	0.0%	2.6%	92.1%	5.3%

昨年度と比べ質問内容に「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。」という文言が追加されており、単純な比較はできないが、肯定的な回答が今年度は65.1%で、昨年度の69.3%、一昨年度の75.7%と漸減している。いじめを許さない強い気持ち、他人を思いやる心、他人とのコミュニケーションを重視する姿勢について、十分な理解になっていないのかも知れない。「いじめ」またはそれに類した行動につながらないように、今年に引き続き1年生の早い時期に「いじめ」について人権HRで取り上げていきたい。

生徒	17	人権について学ぶ機会がある。	1年	27.6%	36.4%	20.5%	4.2%	11.3%	64.0%	24.7%
			2年	34.6%	42.4%	10.8%	3.9%	8.2%	77.1%	14.7%
			3年	41.1%	44.7%	7.8%	1.8%	4.6%	85.8%	9.6%
			全体	34.3%	41.1%	13.2%	3.3%	8.1%	75.3%	16.5%

肯定的な回答は昨年同様に75%を超えている。また高学年になるほど肯定的である。学年ごとに別テーマで取り組む人権HR、毎年全校単位で行う人権講演などの取組が、生徒に幅広いテーマで人権について学ぶ機会を与えている事の一定の成果と考えられる。

保護者	25	先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっているようである。	1年	24.6%	38.2%	5.2%	2.1%	29.3%	62.8%	7.3%
			2年	22.7%	41.9%	11.8%	4.4%	18.7%	64.5%	16.3%
			3年	26.9%	43.0%	8.3%	4.7%	16.6%	69.9%	13.0%
			全体	24.7%	41.1%	8.5%	3.7%	21.5%	65.8%	12.3%

肯定的な解答が65.8%で昨年とほぼ変わらない結果がでている。特徴的なのは「よくわからない」という回答が21.5%あり、今後、PTAや懇談などの場で、人権に関する学校の取組をもっと知っていただくための活動を充実させていく必要がある。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	13	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	1年	26.8%	17.6%	21.3%	16.7%	17.6%	44.4%	38.1%
			2年	27.4%	37.8%	15.2%	7.4%	12.2%	65.2%	22.6%
			3年	32.7%	45.0%	10.9%	5.9%	5.5%	77.7%	16.8%
			全体	28.9%	33.1%	16.0%	10.2%	11.9%	62.0%	26.1%
保護者	13	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	1年	26.8%	17.6%	21.3%	16.7%	17.6%	44.4%	38.1%
			2年	27.4%	37.8%	15.2%	7.4%	12.2%	65.2%	22.6%
			3年	32.7%	45.0%	10.9%	5.9%	5.5%	77.7%	16.8%
			全体	28.9%	33.1%	16.0%	10.2%	11.9%	62.0%	26.1%

芦間高校の中に、相談室や保健室という「相談できる場所」があることを「知っている」とする生徒が、昨年度は69.1%で、本年度は62.0%。保護者も同じ割合である。

数値は下がっているが、相談室の利用はむしろふえている。相談室での「軽い相談」では解決できないものは、スクール・カウンセラーにつないでケアも続けているが、「相談できる場所」の認知度が下がっていることへの対策としては、「教育相談ニュース」の発行数を増やすことを考えている。昨年度は計4回発行、本年度は現在2回である。何か問題があった時に「臨時」で発行したことはあるが、来年度は「日常の周知のためのニュース」の回数をふやしていきたい。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	6	芦間高校の進路指導には満足している。	1年	11.8%	33.2%	27.3%	8.0%	19.7%	45.0%	35.3%
			2年	14.3%	33.3%	24.2%	13.0%	15.2%	47.6%	37.2%
			3年	20.9%	45.0%	18.6%	8.6%	6.8%	65.9%	27.3%
			全体	15.5%	37.0%	23.5%	9.9%	14.1%	52.5%	33.4%
保護者	6	芦間高校の進路指導には満足している。	1年	20.4%	36.1%	11.0%	3.7%	28.8%	56.5%	14.7%
			2年	18.7%	38.9%	18.7%	7.4%	16.3%	57.6%	26.1%
			3年	24.9%	38.3%	16.6%	7.3%	13.0%	63.2%	23.8%
			全体	21.3%	37.8%	15.5%	6.1%	19.3%	59.1%	21.6%
生徒	10	奨学金制度についての情報は、十分に知らされている。	1年	11.7%	28.9%	20.9%	12.1%	26.4%	40.6%	33.1%
			2年	9.1%	26.0%	27.7%	17.3%	19.9%	35.1%	45.0%
			3年	27.7%	43.6%	17.3%	5.5%	5.9%	71.4%	22.7%
			全体	15.9%	32.6%	22.0%	11.7%	17.7%	48.6%	33.8%

進路指導に関しては、生徒に要求するべきところは要求しなければいけないので、満足度のみにとらわれることは、危険であるのかもしれない。実際、3年生は満足度が下がっているにもかかわらず、進学数は伸びているので、そこは比例する物では無いと思われる。それを大前提とした上で彼らの満足度がどこにあるのかを、考える必要があるのかもしれない。

行事内容として、昨年度と変わったことはないの、考えられる方法として、情報提供の方法の工夫や、提供時期、提供量の工夫が必要である。情報提供の方法の工夫に関して、生徒の「資料を読みとり力」が考えられるので、配付数だけで無く丁寧な「内容説明」を伴った配付が必要では無い。

進路指導において一番大事なことはやはり啓蒙である。「学年進路通信」をタイムリーに発行することにより、今、必要なことは何か、なぜ必要なかを訴えることにより、生徒保護者の進路意識に対する啓蒙をはかっていきたい。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	7	「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	1年	28.9%	37.2%	20.5%	7.1%	6.3%	66.1%	27.6%
			2年	28.1%	34.6%	19.9%	10.0%	7.4%	62.8%	29.9%
			3年	28.2%	40.9%	15.0%	7.7%	8.2%	69.1%	22.7%
			全体	28.4%	37.5%	18.6%	8.3%	7.2%	65.9%	26.8%
保護者	7	「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	1年	19.9%	37.2%	16.8%	5.8%	19.4%	57.1%	22.5%
			2年	20.2%	33.5%	20.2%	5.9%	19.7%	53.7%	26.1%
			3年	11.4%	39.9%	19.7%	5.2%	22.8%	51.3%	24.9%
			全体	17.2%	36.8%	18.9%	5.6%	20.6%	54.0%	24.5%
教員	7	生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	人数	15	19	2	0	2	34	2
			百分率	39.5%	50.0%	5.3%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%

産社や総学などはしっかりと自分で考え取り組まないといけないことから、意義は高いが生徒達の感情として好ましくない、めんどくさいことなのかもしれない。教員自身も負担が増えている中、省ける作業を省いて教員自身がしっかりと意義を持って取り組めるような対策が必要なのではないか。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、自分の理解度に合っていて、内容がよくわかるようになった。	1年	18.4%	33.1%	25.9%	16.7%	5.9%	51.5%	42.7%
			2年	19.1%	46.5%	20.4%	6.1%	7.8%	65.7%	26.5%
			3年	26.8%	49.1%	14.5%	2.7%	6.8%	75.9%	17.3%
			全体	21.3%	42.7%	20.5%	8.7%	6.8%	64.0%	29.2%
保護者	3	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後新しいクラス分けがあることなどの効果で、子どもの学習意欲はより高まったようである。	1年	22.5%	40.8%	18.8%	5.8%	11.5%	63.4%	24.6%
			2年	24.6%	40.4%	16.7%	4.9%	12.8%	65.0%	21.7%
			3年	28.0%	38.3%	10.4%	5.2%	17.1%	66.3%	15.5%
			全体	25.0%	39.9%	15.3%	5.3%	13.8%	64.9%	20.6%
教員	2	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、生徒の理解度に合っていて、内容がよく理解できるようになっているようである。	人数	12	23	0	0	3	35	0
			百分率	31.6%	60.5%	0.0%	0.0%	7.9%	92.1%	0.0%

生徒の希望を取り入れず、英語・数学の定期考査の点数によって習熟度別の講座編成を行っているため、生徒にとっては、自分の希望が反映されていないという思いがあるかもしれない。保護者は、少人数かつ習熟度に好感を持ってくれていると思われる。

現在も教科担当から習熟度別編成の趣旨を説明しているが、教員間でも、習熟度別の基礎・標準・発展の到達目標等について共通理解を深め、生徒への伝え方に違いが生まれないようにしなければならない。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	5	成績については、テストの得点だけでなく、様々な面からの評価を受けている。	1年	8.0%	36.1%	25.2%	12.2%	18.5%	44.1%	37.4%
			2年	10.8%	39.0%	21.6%	10.8%	17.7%	49.8%	32.5%
			3年	23.2%	42.3%	15.0%	8.2%	11.4%	65.5%	23.2%
			全体	13.8%	39.0%	20.8%	10.4%	16.0%	52.8%	31.2%
保護者	5	成績については、テストの得点だけでなく様々な面から評価されているようである。	1年	8.4%	49.7%	12.0%	3.1%	26.7%	58.1%	15.2%
			2年	24.1%	46.8%	9.4%	5.4%	13.8%	70.9%	14.8%
			3年	26.9%	43.0%	8.8%	3.6%	17.6%	69.9%	12.4%
			全体	19.9%	46.5%	10.1%	4.1%	19.3%	66.4%	14.1%
教員	5	成績については、テストの得点だけでなく、様々な面からの評価をしている。	人数	26	11	0	0	1	37	0
			百分率	68.4%	28.9%	0.0%	0.0%	2.6%	97.4%	0.0%

今年度当初に、全教員で生徒向けのオリエンテーションを行ったが、生徒の肯定的意見は、減少した。
4月当初に行ったオリエンテーションだけでは、2学期後半には、生徒は忘れていたのかもしれない。

生徒	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われている。	1年	27.6%	31.8%	24.7%	7.5%	8.4%	59.4%	32.2%
			2年	19.0%	32.5%	27.3%	13.0%	8.2%	51.5%	40.3%
			3年	24.1%	40.5%	20.5%	8.6%	6.4%	64.5%	29.1%
			全体	23.6%	34.8%	24.2%	9.7%	7.7%	58.4%	33.9%
保護者	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われているようである。	1年	20.4%	40.3%	14.1%	2.6%	22.5%	60.7%	16.8%
			2年	23.6%	46.8%	13.3%	7.4%	8.4%	70.4%	20.7%
			3年	23.3%	39.4%	16.6%	4.7%	16.1%	62.7%	21.2%
			全体	22.5%	42.2%	14.7%	4.9%	15.5%	64.7%	19.6%
教員	9	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行っている。	人数	12	21	2	0	2	33	2
			百分率	32.4%	56.8%	5.4%	0.0%	5.4%	89.2%	5.4%

生徒	9	芦間高校は選択科目が多く、それらを自分で選ぶところが魅力である。	1年	39.5%	37.0%	11.3%	7.1%	5.0%	76.5%	18.5%
			2年	43.3%	26.8%	15.2%	8.7%	6.1%	70.1%	23.8%
			3年	54.1%	29.5%	9.5%	3.6%	3.2%	83.6%	13.2%
			全体	45.4%	31.2%	12.0%	6.5%	4.8%	76.6%	18.6%
保護者	9	芦間高校は、選択科目が多く、それらを自分で選ぶところが魅力のようである。	1年	43.5%	43.5%	7.9%	0.5%	4.7%	86.9%	8.4%
			2年	45.8%	40.4%	6.4%	3.0%	4.4%	86.2%	9.4%
			3年	47.7%	35.8%	6.7%	3.6%	5.7%	83.4%	10.4%
			全体	45.7%	39.9%	7.0%	2.4%	4.9%	85.5%	9.4%
教員	10	芦間高校は、選択科目が多くそれらを自分で選ぶところが、生徒にとって魅力のようである。	人数	18	16	4	0	0	34	4
			百分率	47.4%	42.1%	10.5%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%

科目選択についての肯定率が減少傾向にある。教務部で科目選択のアンケートを行っているが、シラバスの充実など、進路指導部、産社総学委員会、学年と連携しながら検討していきたい。

「選択科目が多い」点については、広報の段階から、中学生に選択科目について情報を流しているが、実際には群表のしぼり、閉講科目などどうしても選択できない科目が生じる。また、「進路に必要な科目を選択し、その上で興味関心のある科目を選択できる」という当たり前のことを、あらためて、説明する必要がある。

生徒	11	芦間高校の生徒指導の方針は、理解できる。	1年	17.2%	33.6%	19.3%	15.1%	14.7%	50.8%	34.5%
			2年	15.6%	29.0%	26.8%	14.3%	14.3%	44.6%	41.1%
			3年	21.8%	40.0%	20.0%	9.1%	9.1%	61.8%	29.1%
			全体	18.1%	34.1%	22.1%	12.9%	12.8%	52.2%	35.0%
保護者	13	芦間高校の生徒指導の方針は理解できる。	1年	22.5%	49.2%	4.7%	2.1%	20.9%	71.7%	6.8%
			2年	28.1%	44.8%	8.4%	3.0%	15.8%	72.9%	11.3%
			3年	25.4%	42.5%	8.3%	1.6%	21.8%	67.9%	9.8%
			全体	25.4%	45.5%	7.2%	2.2%	19.4%	70.9%	9.4%
教員	12	芦間高校の生徒指導の方針は、生徒や保護者に理解されている。	人数	10	21	2	1	4	31	3
			百分率	26.3%	55.3%	5.3%	2.6%	10.5%	81.6%	7.9%

生徒の肯定率52.2%で数値だけを見ると高いとは言えないが、生徒指導という性質上やむを得ないと考える。また、現在の生徒指導方針は落ち着いた学習環境を構築する上で最低限の方針だと考える。ただ、生徒も変化して否定率が増加しているのでも、頭ごなしの指導ではなく指導の必要性をしっかりと説明し理解させることが肝要である。

保護者の方の肯定率70.9%はこの程度で問題ないと考える。

生徒	15	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	1年	10.9%	22.6%	20.1%	4.2%	42.3%	33.5%	24.3%
			2年	20.8%	22.1%	13.4%	4.3%	39.4%	42.9%	17.7%
			3年	21.4%	33.6%	11.4%	3.2%	30.5%	55.0%	14.5%
			全体	17.5%	25.9%	15.1%	3.9%	37.5%	43.5%	19.0%
保護者	12	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる	1年	17.8%	19.4%	4.2%	0.0%	57.6%	37.2%	4.2%
			2年	18.2%	25.6%	8.9%	2.5%	44.8%	43.8%	11.3%
			3年	21.8%	22.8%	8.8%	3.6%	43.0%	44.6%	12.4%
			全体	19.3%	22.7%	7.3%	2.0%	48.4%	41.9%	9.4%
教員	16	芦間高校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	人数	14	23	1	0	0	37	1
			百分率	36.8%	60.5%	2.6%	0.0%	0.0%	97.4%	2.6%

今年度より新たに追加した項目である。肯定率43.5%は少ないように見えるが、よくわからないが37.5%あり、いじめで困った経験がないのかもしれない。ただし、否定率19%は決して少ない数字ではない。いじめが発覚すれば教員はすぐに対応するので、教員にいじめを相談することに抵抗があるのかもしれない。いじめは存在するという前提に立ち、教員がより敏感に察知するように努め、来年度は否定率を10%以下に押さえ込みたい。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	18	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	1年	57.7%	29.7%	8.4%	2.1%	2.1%	87.4%	10.5%
			2年	52.8%	38.5%	3.0%	2.6%	3.0%	91.3%	5.6%
			3年	60.0%	28.2%	5.5%	4.1%	2.3%	88.2%	9.5%
			全体	56.8%	32.2%	5.7%	2.9%	2.5%	89.0%	8.6%
保護者	20	芦間高校生は文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加しているようである。	1年	68.1%	26.2%	2.6%	0.5%	2.6%	94.2%	3.1%
			2年	63.1%	27.1%	3.9%	1.5%	3.4%	90.1%	5.4%
			3年	68.9%	22.3%	3.6%	2.6%	2.6%	91.2%	6.2%
			全体	66.6%	25.2%	3.4%	1.5%	2.9%	91.8%	4.9%
教員	21	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	人数	29	8	0	0	0	37	0
			百分率	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教員	20	芦間高校は、学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	人数	19	17	1	0	0	36	1
			百分率	51.4%	45.9%	2.7%	0.0%	0.0%	97.3%	2.7%

生徒、保護者ともに90%近い肯定率を得ており、今後ともこの水準を維持したい。

保護者	19	芦間高校の学校行事や公開授業に参加したことがある。	1年	39.8%	30.4%	6.8%	21.5%	1.0%	70.2%	28.3%
			2年	47.8%	27.1%	10.3%	12.3%	1.5%	74.9%	22.7%
			3年	53.4%	23.8%	8.3%	10.9%	2.6%	77.2%	19.2%
			全体	47.0%	27.1%	8.5%	14.8%	1.7%	74.1%	23.3%

肯定率は各学年とも微減し、否定率が微増しており、1年にその傾向が顕著である。しかしながら、祖父や祖母を含め複数人で来校する保護者も多く、来校者数としては増加傾向にある。

	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	19	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	1年	15.2%	27.8%	27.8%	11.4%	17.7%	43.0%	39.2%
			2年	13.4%	31.6%	22.5%	17.3%	15.2%	45.0%	39.8%
			3年	19.2%	31.1%	25.1%	11.0%	13.7%	50.2%	36.1%
			全体	15.9%	30.1%	25.2%	13.2%	15.6%	46.0%	38.4%
保護者	21	芦間高校生は生徒会活動に関心を持って積極的に参加しているようである。	1年	24.6%	27.2%	8.4%	3.1%	36.1%	51.8%	11.5%
			2年	22.2%	31.5%	12.3%	6.4%	26.6%	53.7%	18.7%
			3年	26.9%	28.0%	14.0%	5.2%	25.4%	54.9%	19.2%
			全体	24.5%	29.0%	11.6%	4.9%	29.3%	53.5%	16.5%
教員	22	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	人数	11	20	4	0	3	31	4
			百分率	28.9%	52.6%	10.5%	0.0%	7.9%	81.6%	10.5%
生徒	20	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	1年	24.5%	40.1%	19.8%	8.4%	7.2%	64.6%	28.3%
			2年	19.1%	31.7%	17.8%	17.4%	13.9%	50.9%	35.2%
			3年	32.3%	40.9%	13.6%	6.4%	6.8%	73.2%	20.0%
			全体	25.2%	37.6%	17.2%	10.8%	9.3%	62.7%	27.9%
教員	23	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	人数	5	24	7	0	2	29	7
			百分率	13.2%	63.2%	18.4%	0.0%	5.3%	76.3%	18.4%

「生徒会活動に関心・・・」について、肯定率は5割に達していないが、生徒総会の様子など見ていると積極的に参加している生徒は多いと思われる。ただ、否定的評価も4割程度いるので、半数程度はまだ身近なもの

になっていないかもしれない。今後も継続して生徒会活動について生徒の代表である生徒会執行部から発信していく必要があると考える。

「部活動への参加」について、生徒の肯定率62.7%は低いように感じるが、実際には70%程度は部活動に参加しているので、この結果とは別に、部活動加入率80%を目指していきたい。ただ、否定率の増加につれてアルバイトの許可申請が増加しており、その理由はほとんどが進学準備のためである。奨学金の問題がクローズアップされてから進学の金銭面に対する不安が増大している。学習面も生活面も悪影響があるので、保護者の理解を得たい。